

令和3年度進捗評価シート
三島市歴史的風致維持向上計画（平成28年10月3日認定）
(最終変更令和3年1月25日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1) 1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2) 1 まち並みと景観形成	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3) 1 歴史的風致形成建造物保全整備事業	3
2 史跡等保存活用計画策定・史跡等総合整備活用事業	4
3 三島大祭り補助事業	5
4 三島囃子保存会補助事業	6
5 地域文化財啓発補助事業	7
6 景観重点整備地区内景観形成補助事業	8
7 案内看板統一化事業	9
8 ふるさとガイドの会補助事業	10
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4) 1 文化財の保存・活用を行うための施設	11
2 文化財の防災	12
3 文化財の保存・活用の普及・啓発	13
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) 1 県の文化財保存・活用推進認定 三島の2団体 ほか 15件	14
⑥その他(効果等)(様式1-6) 1 観光交流客	15
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	16

項目	評価対象年度 令和3年度	現在の状況
計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	<p>●本計画の推進体制は、本計画策定に主体的に係る都市計画課と文化財課が担当し、各事業担当課と府内の横断的な連携を図りつつ、本計画の総合的かつ効果的な進行を図る。</p> <p>●三島市歴史まちづくり協議会は、計画の円滑な実施に係る連絡調整や計画変更の協議及び計画の進捗評価を行う。</p>	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●事務局である都市計画課と文化財課の連携の下、関連事業の主な担当部署である商工観光課との打合せを行った。</p> <p>●令和3年度歴史まちづくり協議会を開催(書面開催)し、歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価等について協議するとともに、文化財保護審議委員会を開催した。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
<p>■令和3年度第1回三島市歴史まちづくり協議会の開催状況</p> <p>書面決議日 令和3年5月25日（火）</p> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度三島市歴史的風致維持向上計画の進捗評価について ・三島市歴史的風致維持向上計画の中間評価について 		
<p>■令和3年度第1回三島市文化財保護審議委員会の開催状況</p> <p>書面決議日 令和3年12月22日（水）</p> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の修復等について (三島暦師の館、圓明寺、箱根旧街道石畳、 旧小松宮別邸桜御殿) ・三島市文化財保存活用地域計画の方針について ・令和4年の委員会開催方針について 		
 <p>▲文化財保護審議委員会の様子</p>		

項目	評価対象年度 令和3年度	現在の状況		
まち並みと景観形成		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
計画に記載している内容		<ul style="list-style-type: none"> ● 良好的な景観の形成に関する施策との連携として、都市計画法に基づき建築物の高さ制限について検討する。 ● 三島市景観計画等との連携として、三島市景観形成基本計画に基づく景観重点整備地区の候補地について、三島市景観条例に基づき順次追加指定を進めて行く。 ● 三島市屋外広告物条例に基づく屋外広告物誘導整備地区の追加指定を行うとともに、同条例の周知に取り組む。 		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
<p>● 市道小山三軒家線及び鎧坂線の無電化事業及びアーケード撤去の計画に合わせて、「景観重点整備地区（JR三島駅南口東地区）」（仮称）の指定に向け、地元の「一番町まちづくり委員会」と連携し、地区景観推進協議会を立ち上げた上で、同協議会を4回開催した。この協議会においてワークショップ形式による意見交換を経て、景観整備方針（案）及び地区景観形成基準（案）の調整を進めている。</p> <p>◆ 事業の効果 「景観重点整備地区（JR三島駅南口東地区）」（仮称）の指定に向けた意見交換を行い、景観整備方針（案）及び地区景観形成基準（案）作成を進める中で、三島駅南口東街区再開発を見据えた地区の目指すべき景観形成の方向性が定まりつつあり、地区の住民等の景観形成に係る意識が高まっている。</p>				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない				
状況を示す写真や資料等				
<p>▲「景観重点整備地区（JR三島駅南口東地区）」（仮称）の周辺区域</p>				
<p>▲景観重点整備地区案内図</p>		<p>▲地区景観推進協議会の様子</p> <p>景観重点整備地区(7地区)とは 特に景観形成を図る必要があると 認められる地区。景観形成の目標及 び基準(建築物の色彩や屋外広告物 の掲出基準等)を定めています。</p>		

項目	評価対象年度 令和3年度	現在の状況
歴史的風致形成建造物保全整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28年度～令和7年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	重点区域内に点在している歴史的建造物(三島大社、楽寿館、梅御殿、三島暦師の館、懐古堂ムラカミ屋等)について、維持保全を図るために、必要に応じ補修及び修復などを行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)を活用し、歴史的風致形成建造物の外壁及び屋根の修繕等を行った。</p> <p>○令和3年度実績 旧小松宮別邸桜御殿の修繕・外観改修:2,000千円補助</p> <p>◆事業の効果 歴史的風致形成建造物の維持保全を図った。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的風致形成建造物については、適切な維持保全が図られるよう、引き続き、補修及び修復を行っていく必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
 <p>旧小松宮別邸桜御殿補修内容</p> <p>屋根改修工事 90m² 瓦葺屋根 銅葺屋根 44m² 外壁漆喰塗り 1箇所</p>		
 <p>▲施工前</p>	 <p>▲施工後</p>	
 <p>▲施工中</p>	 <p>▲施工後</p>	

項目	評価対象年度	令和3年度																
史跡等保存活用計画策定・史跡等総合整備活用事業		□実施済 ■実施中 □未着手																
事業期間	平成29年度～令和7年度																	
支援事業名	史跡等保存活用等策定事業																	
計画に記載している内容	山中城跡の調査及び史跡保存活用計画を策定するとともに、計画に基づき、復元整備などを行う。																	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																		
●令和元年10月の台風19号で被災した箇所の復旧工事及び史跡山中城跡保存活用計画策定に向け、事業を進めてきたが、令和3年7月3日、先月末からの長雨の影響により、復旧箇所が再び崩落等の被害を受けた。従前とおりの復旧方法で復旧しても、近年の集中豪雨に対応出来ない可能性が高いため、未整備の排水路の整備を行うことになり、保存活用計画には令和4年度の実施設計を行う排水路計画を盛り込むこととなったため、策定年度を1年先送りした。																		
進捗状況 ※計画年次との対応																		
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	国史跡として保護保存は最優先であるが、少しでも災害に強い史跡にするため、文化庁及び静岡県文化財課からの助言等を受けながら、復旧及び保存活用系策の策定を進めていく。	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																
状況を示す写真や資料等																		
<p>史跡山中城跡全図 災害復旧 (R1 台風 19 号被災) 実施地点</p> <p>1. 三ノ丸西堀 2. 西ノ丸南堀 (工事実施中に被災) 3. 西ノ丸西堀南端 4. 西ノ丸北堀 5. 二ノ丸西堀北端 6. 二ノ丸西堀南端 7. 田尻ノ池上側 A, B 8. 田尻ノ池土砂流入 (赤字は修復完了後、再被災)</p> <p>○は令和元年被災箇所 赤字は令和3年再被災箇所</p>																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>来城者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26年度</td> <td>45,167</td> </tr> <tr> <td>H27年度</td> <td>50,935</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>66,974</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>59,625</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>57,141</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>55,670</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>46,009</td> </tr> </tbody> </table> <p>▲史跡山中城跡来城者数の推移</p>			年度	来城者数(人)	H26年度	45,167	H27年度	50,935	H28年度	66,974	H29年度	59,625	H30年度	57,141	R1年度	55,670	R2年度	46,009
年度	来城者数(人)																	
H26年度	45,167																	
H27年度	50,935																	
H28年度	66,974																	
H29年度	59,625																	
H30年度	57,141																	
R1年度	55,670																	
R2年度	46,009																	

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
三嶋大祭り補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和50年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	今後も三嶋大祭りを継続的に開催するとともに、更なる魅力の向上及び情報発信力の向上を図り、保存及び継承に繋げていくため、三嶋大祭りの運営費等の一部を補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は、当初、三嶋大祭りの開催を決定し、それに向かた準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となつたため、中止決定日までに準備に要した費用に限り補助した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症の拡大により、2年連続で開催が見送りとなっているが、しゃぎりをはじめとした伝統文化を次世代に継承していくために、引き続き支援を実施していく。		
状況を示す写真や資料等			
			
▲三嶋大祭りの様子(当番町山車競り合い)			

項目	評価対象年度	令和3年度
	現在の状況	
三島囃子保存会補助事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和55年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	静岡県指定の無形民俗文化財である三島囃子の保存・継承のために、三島囃子保存会の活動費の一部を補助する。	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 令和3年度はコロナ渦により、三島囃子保存会の当初予定の半分の活動となつたため、補助予定金額の1/2を補助した。
- 活動内容
 - ・練習：適宜実施(月2回程度)ただし年度当初から9月まではコロナ禍の影響で中断。10月に活動を再開した。
- ◆事業の効果

本事業は静岡県の民俗文化財に指定された当時の演奏曲、曲調、演奏技術を後世に残すことを第一としており、今後も技量を維持するための練習を継続して実施している。

なお、三島囃子の一部であるしやぎりは、令和3年度は中止になったが三島大祭りには欠かせないもので、晴れ舞台の祭り当日に向け、町内ごとに老若男女が集まって演奏練習を行うことで、地域の絆づくりに寄与している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度の三島大祭りはコロナ禍で中止となつたが、将来の担い手となる子どもたちへの普及活動は必要不可欠であるため、今後も補助事業を継続していく。

状況を示す写真や資料等

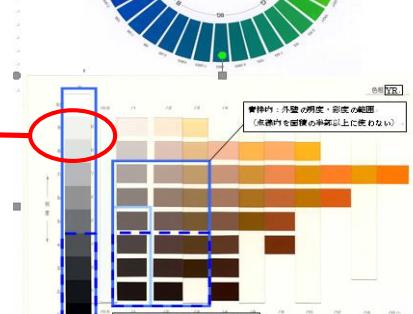
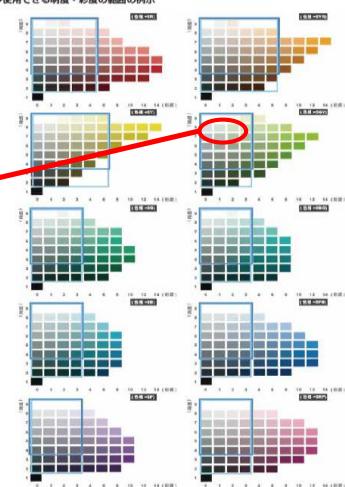
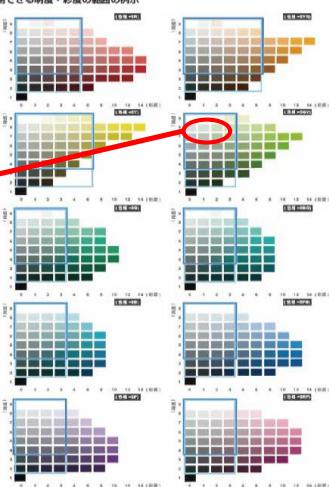


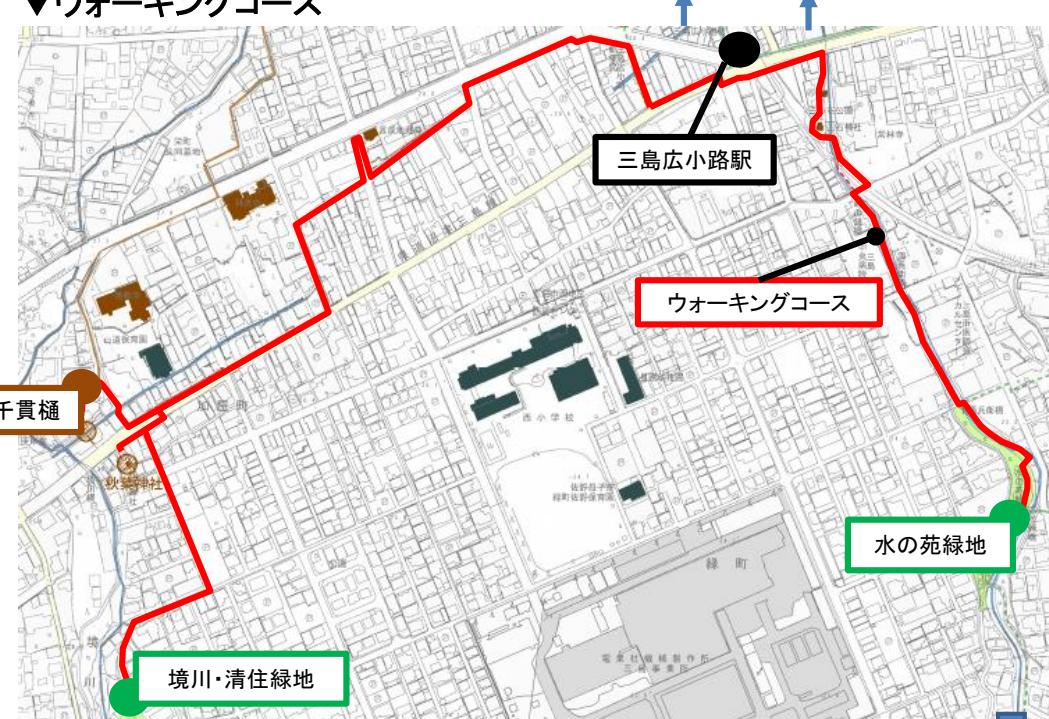
▲長谷川園「きのこマルシェ」川原ヶ谷公民館前



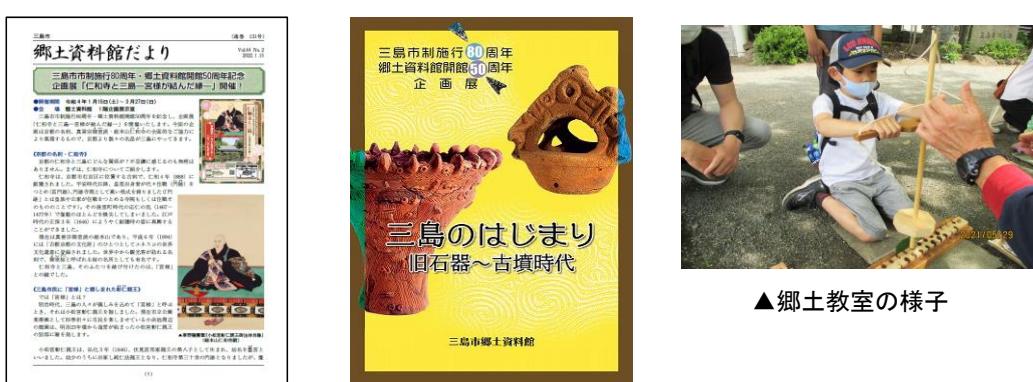
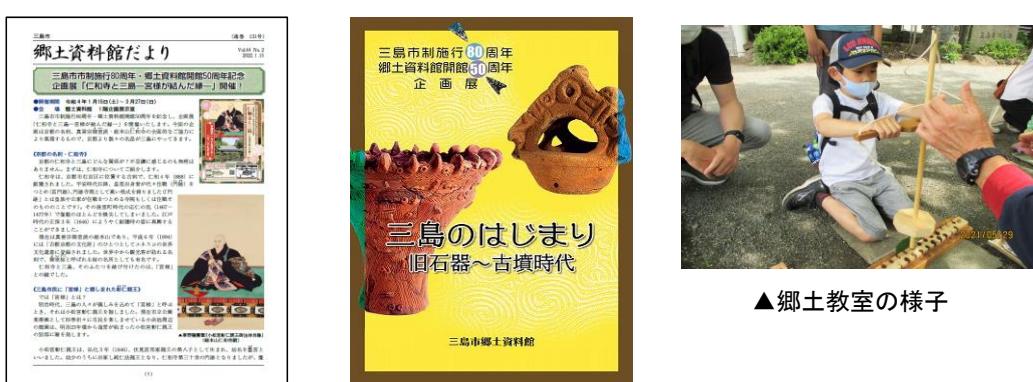
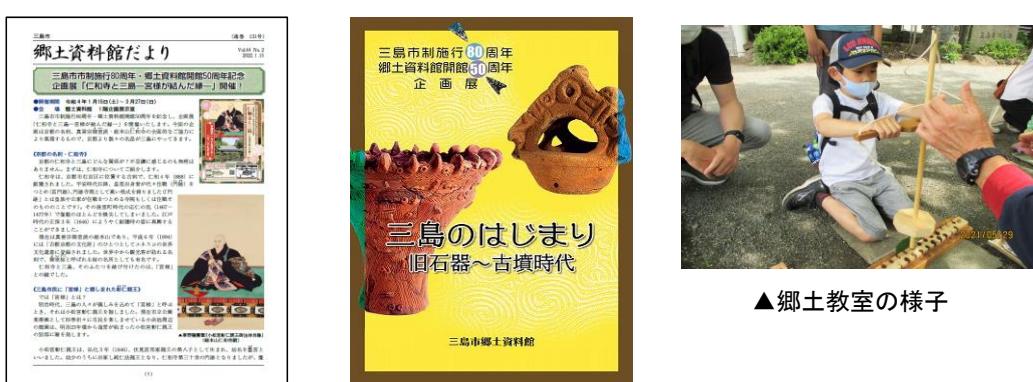
▲令和3年6月6日(日)から毎週日曜 中高校生指導 川原ヶ谷公民館

項目		評価対象年度	令和3年度
		現在の状況	
地域文化財啓発補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中
<input type="checkbox"/> 未着手			
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	民俗文化財の伝承のために、歴史研究を行う市民団体と三島市郷土資料館と行政が連携し、市内の民俗文化財に関する調査を実施し、映像や報告書としてとりまとめる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>●「石造物調査の会」を年間9回実施し、郷土資料館ボランティアと協働で中郷地域の石造物調査を進めた。</p> <p>●「古文書整理の会」を年間11回実施し、館蔵資料である的場贊川家文書の整理・調査を行った。</p> <p>◆事業の効果 「三島の石造物3 中島・多呂・北沢」、「的場贊川家文書仮目録(4)」の刊行により、郷土学習の基となる情報の集積を進めることができた。また、活動の蓄積により、ボランティアや地域の人々の郷土に対する関心や知識を増進させることができた。</p> <p>※雨天のため5、9月の石造物調査は中止となった。</p> <p>※新型コロナウィルス感染症の感染拡大の影響をうけ、石造物調査の会は令和2年4月～令和3年3月までの全11回の内、4～9月・1・2月の7回が中止となり、古文書整理の会は全12回の内、9月が中止となった。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	回を重ねることで、ボランティアの練度が上がり、基本的な調査を自主的に実施出来るようになつたため、さらに経験を重ねていく。また調査は専門的な知識が必要になることから、専門家の意見等を聞きながら、事業を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
<p>三島の石造物 3 中島・多呂・北沢</p> <p>2022年3月 三島市郷土資料館</p>		<p>三島市郷土資料館所蔵 的場贊川家文書仮目録(4)</p> <p>近世 D 村制・戸口 E 諸産業・入会 F 商業・金融 G 交通・通信 H 水利・土木</p> <p>令和4年(2022年)3月 三島市郷土資料館</p>	
<p>▲三島の石造物3 中島・多呂・北沢</p>		<p>▲的場贊川家文書仮目録(4)</p>	
 <p>▲石造物調査の様子</p>			

項目	評価対象年度 令和3年度	現在の状況
景観重点整備地区内景観形成補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成12年度～令和7年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	三島市景観重点整備地区において、建築物行為の制限に適合させるための工費の一部を補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>● 良好的な景観形成のため、景観条例・景観計画に基づく景観重点整備地区内の修繕等について補助を行った。</p> <p>○ 令和3年度実績:「白滝公園・桜川地区」内の建築物の外観の変更:1件(1,000千円補助) 「蓮沼川(宮さんの川)地区」内の建築物の新築:1件(1,000千円補助)</p> <p>◆ 事業の効果 行為の制限に適合した建築や、修繕などが促進され、景観重点整備地区内の価値と魅力の向上を図られた。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当該補助事業の周知を図るために、広報みしまでの周知をするとともに、対象となる世帯に資料を配布する。	
状況を示す写真や資料等		
<p>【白滝公園・桜川地区】</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>【工事内容】 外壁塗装・改修</p> </div> <div style="flex-grow: 1;">  <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;">  <p>景観形成基準 色彩</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>景観形成基準 色彩</p> </div> </div> </div> </div> <p>▲改修後</p>		
<p>【蓮沼川(宮さんの川)】</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>【工事内容】 新築</p> </div> <div style="flex-grow: 1;">  <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;">  <p>◆使用できる明度・彩度の範囲の例示 色彩</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>◆使用できる明度・彩度の範囲の例示 色彩</p> </div> </div> </div> </div> <p>▲新築</p>		

項目	評価対象年度 令和3年度	現在の状況
案内看板統一化事業		■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	平成28年度～令和7年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	歴史的な建造物等を案内する既存の案内看板について、案内機能の向上を図るために、表記方法や意匠の統一化、多言語化など案内看板の整備を進める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
●静岡県・三島市・清水町の「水の郷構想」に基づき、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)を活用した事業を実施。 令和元年度に策定した境川・清住緑地から水の苑緑地の間で歴史的建造物等を含んだウォーキングコース上に案内サイン等を整備した。		
●事業の効果 国内外の利用者への案内機能の向上及び充実が図られた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
 <p>▼ウォーキングコース</p> <p>蓮沼川 源兵衛川</p> <p>三島広小路駅</p> <p>蓮沼川 源兵衛川</p> <p>千貫樋</p> <p>水の苑緑地</p> <p>境川・清住緑地</p> <p>柿田川公園方面</p> <p>中郷温水池方面</p> <p>【ウォーキングルート上に設置した案内サイン】</p> <p>柿田川公園方面</p> <p>中郷温水池方面</p> <p>▲案内看板:13箇所</p> <p>◀路面標示サイン:7箇所</p>		

項目	評価対象年度 令和3年度	現在の状況
三島市ふるさとガイドの会補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成3年度～令和7年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	本市への来訪者に、市の歴史や人々の伝統的な活動についてボランティアで案内する「三島市ふるさとガイドの会」について、ボランティアガイド養成のための費用を補助する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<ul style="list-style-type: none"> ●三島市ふるさとガイドの会に対し、補助金を支出した。 ●活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・観光客に対するおもてなしガイドの実施 ・「ふるさとみしま歴史探訪」をはじめとする各種イベントの企画及び実施 ・静岡県の委託事業「県民の日」「富士山の日」の実施 ※R3は中止 ・案内人数1,412人、案内件数145件(R4.3.16現在) ・ガイド養成講座(各年)R3未実施 ◆事業の効果 <ul style="list-style-type: none"> 会員総数(61名/R4.1.1現在) 		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ボランティアガイドの高齢化が進行。事業継承、担い手育成及び人員確保のため、隔年でボランティアガイド養成講座を開催していく。	
状況を示す写真や資料等		
		
<p>▲三島市ふるさとガイドの会活動の様子 「第33回ふるさと歴史探訪」 (令和3年11月7日)</p>		

項目	評価対象年度 令和3年度	現在の状況 令和3年度															
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手															
文化財の保存・活用を行うための施設																	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																	
<p>●三島市郷土資料館事業</p> <p>1 企画展</p> <p>R3/3/20～6/6 「新規収蔵品展」 9,437人 R3/7/22～12/19 「三島のはじまり 旧石器～古墳時代」 18,776人 R3/12/18～R4/3/27 パネル展「頼朝と三島一伝承をたずねるー」(常設展示室内で実施) R4/1/15～3/27 「仁和寺と三島一宮様が結んだ縁ー」 7,351人(～3/23)</p> <p>2 教室・講座</p> <p>(1)郷土教室 5月～翌3月までの主に土・日曜日、月1～3回程度 全13回(計画22回、中止9回) 591人 ※大雨のため樂寿園が閉鎖し、7月3日の郷土教室を中止。 ※コロナウイルス感染症対策の為、8・9月、2・3月の郷土教室を中止。 ミュージアム・フェスタ R4/3/5 28人 ※新型コロナ感染症対策の為、R3/10/3から延期、規模縮小開催。</p> <p>(2)その他 企画展関連事業 「三島のはじまり 旧石器～古墳時代」 講演会①「弥生時代の三島市内の様子」 R3/9/23～10/17 (事前申込者計52名限定オンライン配信) のべ193回再生 講演会②「前方後円墳と古代伊豆の現像」 R3/11/28 55人 企画展「仁和寺と三島一宮様が結んだ縁ー」関連講演会 オンライン開催 R4/2/2/26 32人 ふるさと講座「地域の文化財めぐり 徳倉・竹倉」 徳倉 R3/12/3 14人 竹倉 R3/12/17 10人</p> <p>3 刊行物 郷土資料館だより130、131号 各号1,000部 / 地域の文化財めぐりマップ 徳倉、竹倉 各号1,000部 中 鈴木家文書史料集2 180部 / 図録「三島のはじまり 旧石器～古墳時代」 600部</p> <p>◆事業の効果:三島の歴史・文化に興味を持ってもらうとともに、地元への愛着を育む手助けができた。</p>																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗状況 ※計画年次との対応</th> <th colspan="2">実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している <input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない </td> <td colspan="2" rowspan="3"> 教室・講座の実施にあたっては新型コロナウイルス感染症対策のため、実施できたとしても1回あたりの参加者の制限が必要となり、従来よりも少ない参加者とならざるを得なかった。そのような中で、講演会のオンライン開催や展示資料のインターネット上で紹介などによる学習機会の提供に努めた。ただし、本物に触れる機会の確保はこれまで以上に重要であると考えており、今後もできるだけ事業を実施していく予定である。 </td></tr> <tr> <td colspan="3">状況を示す写真や資料等</td></tr> <tr> <td colspan="3">  </td></tr> <tr> <td colspan="2"> <p>▲郷土資料館だより131号</p> <p>▲企画展チラシ</p> </td><td></td></tr> </tbody> </table>			進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	教室・講座の実施にあたっては新型コロナウイルス感染症対策のため、実施できたとしても1回あたりの参加者の制限が必要となり、従来よりも少ない参加者とならざるを得なかった。そのような中で、講演会のオンライン開催や展示資料のインターネット上で紹介などによる学習機会の提供に努めた。ただし、本物に触れる機会の確保はこれまで以上に重要であると考えており、今後もできるだけ事業を実施していく予定である。		状況を示す写真や資料等						<p>▲郷土資料館だより131号</p> <p>▲企画展チラシ</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	教室・講座の実施にあたっては新型コロナウイルス感染症対策のため、実施できたとしても1回あたりの参加者の制限が必要となり、従来よりも少ない参加者とならざるを得なかった。そのような中で、講演会のオンライン開催や展示資料のインターネット上で紹介などによる学習機会の提供に努めた。ただし、本物に触れる機会の確保はこれまで以上に重要であると考えており、今後もできるだけ事業を実施していく予定である。																
状況を示す写真や資料等																	
																	
<p>▲郷土資料館だより131号</p> <p>▲企画展チラシ</p>																	

項目	評価対象年度 令和3年度	現在の状況
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	<p>●文化財のうち有形文化財は、火災、地震、落雷、水害、台風等の災害により毀損、滅失する恐れがあることから、個別の有形文化財ごとに防災対策を検討し、被災リスクの軽減を図ることが求められる。</p> <p>●美術工芸品などの有形文化財は、盗難に遭わないように防犯設備設置を推奨するとともに、所有者の防犯に対する意識向上を図る。</p>	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●1月26日の文化財防火デーにあわせ、その前後に、三島大社、楽寿館、佐野美術館、三島市郷土資料館で防災訓練を実施した。</p> <p>●国登録有形文化財について、指定業者による防火設備の設置状況の確認を行った。</p> <p>◆事業による効果 定期的に防災訓練を実施すること、実施に際しては実際の状況を想定し、毎回課題をもって訓練することで、防災意識が醸成された。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	長らく維持管理してきた建造物等は、三島市の貴重な財産であり、引き続き市内の文化財所有者に対し、防災訓練の実施を呼びかけていく。	
状況を示す写真や資料等		
 		
<p>▲楽寿園の楽寿館からの出火を想定した放水及び消火器による訓練 (令和4年1月27日)</p>		

項目	評価対象年度 令和3年度	現在の状況
文化財の保存・活用の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	<ul style="list-style-type: none"> ●本市に分布する文化財のパンフレット作成や市ホームページの充実を図る。 ●市民の文化財に対する理解を深める機会の創出に繋げるため、発掘調査、整備工事、建造物修理の現場説明会などを随時実施する。 ●観光ボランティア等によるガイド活動やイベントの開催などにより、文化財の普及・啓発を図る。 	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<p>●自分の住んでいる地域の歴史や文化財を調査し、保護に努め、次世代に残す活動をしている市民団体に対して、これまでの成果をまとめることを促し、その成果をまとめた刊行物の編集アドバイス、印刷費の補助を行うことで、郷土に対する愛着心を持つ人が増えるよう働きかけている。令和3年度は2団体が活動成果をまとめ、各2,000部刊行した。</p> <p>●令和4年3月の1か月間、山中城跡の維持管理費への寄附をガバメントクラウドファンディングの制度を利用して呼びかけ、全国から99人、575,580円の寄附が集まった。この試みは令和3年度で4回目となり、令和4年4月30日、寄附者限定のイベントとして普段は入れない人気の高い障子堀の中に入り、自由に記念撮影ができるイベントを実施する。</p> <p>◆事業の効果 文化財などに対する情報を行政側からだけではなく、地域に住んでいる市民の方からも発信してもらうことで、郷土愛を深め、シビックプライドを高める効果がある。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域の歴史や文化、文化財について、一番情報を持っているのはその地に住む人たちなので、これからも地域で活動している郷土史研究会等がその成果を広く他の人に情報発信できるよう提案・協力していく。	
状況を示す写真や資料等		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>江戸時代にタイムスリップ! GO!</p> <p>春水さん、夏木さんと多く東海道三島宿の観光スポットへ</p> <p>一歩木育光の「マンガで描くまちと三島」より</p> <p>江戸時代の旅行マップをマンガで 分かりやすく再現しました。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>C58322 来園50周年記念</p> <p>2021年は C58322蒸気機関車が正好に登場されて50年になります。1971年、三島駅、三島製錬会社の会員有志、三島市民など、多くの力で協力によって来園開催に至りました。とりわけ長引さん(三島駅)、(内閣1961-1971)にご尽力をいたしました。</p> <p>開業は1961年4月1日に大成功を収めました。その後も多くの来園者で賑わっています。</p> <p>1942年7月 内閣総理大臣が大蔵省で開催された開業式で開業式が開催されました。</p> <p>七千人(内閣総理大臣、内閣官僚、地方官、二重橋(遊用橋)など)で賑わいました。</p> <p>1960年2月 三島市が開業に賛成を表明しました。</p> <p>1971年3月 一歩木育光が開業に賛成を表明しました。</p> <p>1971年5月 二重橋アーチ橋を完成して開業式を行いました。</p> <p>5月 二重橋アーチ橋から開業式が行われ、祝賀式が行われました。</p> <p>10月 開業の準備が整いました。</p> </div> </div>		
<p>▲江戸時代の 三島宿のリーフレット</p>	<p>▲樂寿園にある 蒸気機関車のリーフレット</p>	

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	令和3年度
県の文化財保存・活用推進認定 三島の2団体	2021/4/9		掲載紙等
文化財保存活用推進、三島の2団体県認定	2021/4/10		静岡新聞
一番町を景観重点地区 親しまれる駅前へ整備	2021/4/17		伊豆日日新聞
観光客らに三島紹介30年 記念誌発行、魅力さらに発信 ふるさとガイドの会	2021/5/19		静岡新聞
三島市ふるさとガイドの会30周年 積極的にツアーアイデア企画	2021/6/4		静岡新聞
三島のウナギ文化継承 生態や歴史 検定で学ぶイベント	2021/7/18		伊豆日日新聞
中国麗水市の生徒とオンライン交流 三島山田中、しゃぎり披露	2021/9/18		伊豆日日新聞
デジタルマップ「朝旅」PR 三島の協会	2021/10/23		静岡新聞
みしまのお寺めぐりの会、10周年記念カレンダー製作	2021/10/25		伊豆日日新聞
歴史振り返り新たな発展へ 三島市制80年を祝う	2021/11/4		静岡新聞
デジタルパンフ ウナギ料理店紹介 県観光協会	2021/11/30		静岡新聞
頼朝、義時ゆかりの地学ぶ 三島で観光ガイド勉強会	2021/12/25		静岡新聞
等やおはやしなど伝統芸能に触れる 三島で親子体験	2022/1/6		静岡新聞
伝統の祭りばやし披露 三島でしゃぎりフェス	2022/1/11		静岡新聞
勇壮に8団体 三島、しゃぎりフェス	2022/1/11		伊豆日日新聞
メディア招き視察ツアー 三島市 食や文化、自然PR	2022/2/25		静岡新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			

三島の歴史的風致に関する内容が多数新聞報道された。これらの報道を通して、歴史的風致の維持向上に関する認識が高まることが期待される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



観光客らに三島紹介 30年

記念誌発行、魅力さらにに発信

観光客三島の名所として史跡を紹介する「三島市ふるさとガイドの会」が4月に創立5年を迎えた。これまでに案内と観光客の方々を超え、会員も活動を通じて三島の良さを再認識している。同会は活動の歩みと関係者の思いをまとめた記録を作成し、「三島の魅力をいかに発信したい」と意図した。

いざやをめでて年間500人以上を案内する年。累計で3000人以上、高齢者の方々で構成された会員から三島の魅力を発信していく力に努めかされることが多いと振り返る。

200部作成し、関係団体に配布するほか、市内の図書館や文化プラザなどに置かれる予定。
(三島支局・金野真仁)

▲静岡新聞
(令和3年4月9日)

▲静岡新聞
(令和3年5月19日)

開かれ、笛で太鼓、りがねの腰鼓のよい音色を会場に響かせた。会場のやさぎは保存会など6団体が出演して、「昇殿」などの伝統的曲目を披露。太鼓をさして、したしゃぎり説ては、演劇の仕方や歴史などについて人気大形式で説明した。しゃぎりと同様に鑑賞能をもつて、受け継ぐ「豊島太鼓」を含め、会場や中島城太鼓などの音色を行わせ、合わせて歌や踊りなど

三島でしゃぎりフェス
三島市伝統の祭りば
やしを披露する「や
ぎりフェスティバル」
(第一回「やし祭り」)



▲静岡新聞
(令和4年1月11日)

		評価対象年度	令和3年度																																				
項目																																							
観光交流客																																							
計画に記載している内容	市民及び観光客に向けて多様な媒体を活用した積極的な情報発信を行うことにより、観光客の増加に繋げるとともに、市民の本市歴史的資源への認識と意識の向上に繋がり歴史的風致の維持向上が期待される。																																						
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で、記事・議会議事録等を添付																																							
<p>●伊豆の玄関口という地勢や三島大社などの歴史資源及び文化資源に加え、街の景観向上整備や特産品の積極的なPR活動の成果として、観光交流客数は増加傾向にある。</p> <p>●令和2年度の観光交流客数は約339万人(前年度比52.48%減)、市民の住環境に対する満足度は前年比0.5ポイント上昇した。</p> <p>※観光交流客数は、現在と同じ統計手法となった平成21年度対比で約88万人減少となっている。</p> <p>※観光交流客数の減少は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による。</p>																																							
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																						
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし																																							
状況を示す写真や資料等																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>観光交流客数 (人)</th> <th>住環境満足度 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22年度</td><td>4,500,000</td><td>85</td></tr> <tr><td>H23年度</td><td>4,500,000</td><td>86</td></tr> <tr><td>H24年度</td><td>4,500,000</td><td>84</td></tr> <tr><td>H25年度</td><td>5,200,000</td><td>87</td></tr> <tr><td>H26年度</td><td>6,000,000</td><td>86</td></tr> <tr><td>H27年度</td><td>6,500,000</td><td>88</td></tr> <tr><td>H28年度</td><td>7,800,000</td><td>89</td></tr> <tr><td>H29年度</td><td>7,800,000</td><td>90</td></tr> <tr><td>H30年度</td><td>7,800,000</td><td>91</td></tr> <tr><td>R1年度</td><td>7,000,000</td><td>92</td></tr> <tr><td>R2年度</td><td>3,500,000</td><td>92</td></tr> </tbody> </table>				年度	観光交流客数 (人)	住環境満足度 (%)	H22年度	4,500,000	85	H23年度	4,500,000	86	H24年度	4,500,000	84	H25年度	5,200,000	87	H26年度	6,000,000	86	H27年度	6,500,000	88	H28年度	7,800,000	89	H29年度	7,800,000	90	H30年度	7,800,000	91	R1年度	7,000,000	92	R2年度	3,500,000	92
年度	観光交流客数 (人)	住環境満足度 (%)																																					
H22年度	4,500,000	85																																					
H23年度	4,500,000	86																																					
H24年度	4,500,000	84																																					
H25年度	5,200,000	87																																					
H26年度	6,000,000	86																																					
H27年度	6,500,000	88																																					
H28年度	7,800,000	89																																					
H29年度	7,800,000	90																																					
H30年度	7,800,000	91																																					
R1年度	7,000,000	92																																					
R2年度	3,500,000	92																																					
▲観光交流客数等の推移																																							
<p>【数値参考元】</p> <p>観光交流客数:「令和2年度 静岡県観光交流の動向」</p> <p>住環境満足度:「令和2年度 三島市 市民意識調査 報告書」</p>																																							

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:三島市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時:令和4年5月25日(書面開催)	
(コメントの概要)	
<p>■歴史的風致形成建造物保全整備事業</p> <ul style="list-style-type: none">・樂寿園、三嶋大社など三島市のみならず地域にとって重要な歴史的な施設の保全は今後も継続して事業を進めてほしい。	
<p>■史跡等保存活用計画策定・史跡等総合整備活用事業</p> <ul style="list-style-type: none">・ガイダンス施設が設置されると良い。日本100名城、山城一の名城、北条の城の集大成としての見所が観光客に理解できるようにしたい。	
<p>■三島大祭り補助事業、三島囃子保存会補助事業</p> <ul style="list-style-type: none">・ハードだけでなく民俗文化の継承は重要かつ大きな課題。高齢化、少子化もあり継続的な保全が必要。特に三島囃子はこの地域固有のものであり、三島で育った子供たちが地域に対するアイデンティティを感じる重要なコンテンツである。	
<p>■案内看板統一化事業</p> <ul style="list-style-type: none">・案内看板の整備は重要。これまでの取り組みは評価できる。今後、更に分かりにくいアクセスの案内看板の整備が望まれる。	
<p>■文化財の保存・活用の普及・啓発ほか</p> <ul style="list-style-type: none">・地域住民からの発信の重要性について、令和3年度の取り組みは評価できる。刊行した江戸時代の三島宿リーフレット2000部は半年で大半が配布され、多く活用された。朝散歩やウォーキングの普及により郷土の歴史への関心が深まっている。このような取り組みが必要と感じた。	
<ul style="list-style-type: none">・地域団体の活動、展示や講演の活動、防災の活動のいずれも静岡県内では良く取り組まれている。県のふじのくに文化財保存・活用推進団体認定制度やふじのくに文化財オータムフェアとの連携もしている。さらに、三島市では今年度から文化財保存活用地域計画の作成にも取り組むので、地域ぐるみによる歴史的風致の維持と文化財の継承に向けて諸活動の総合的な推進につなげてほしい。	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none">・歴史的風致形成建造物保全整備事業では、歴史的風致維持向上計画における重点区域内の歴史的建造物について、維持保全を図るとともに、必要な補修及び修復を行う。	
<ul style="list-style-type: none">・三島大祭りほか、新型コロナウイルス感染症による中止・縮小などの影響を受けた事業を含め、歴史的風致の維持向上のために各種補助事業を継続していく。	
<ul style="list-style-type: none">・案内看板統一化事業は、今後も、表記方法や意匠の統一、多言語表示を進め、点在する歴史的資源等のネットワークを形成し、来訪者の回遊性の向上を進めていく。	
<ul style="list-style-type: none">・アイデンティティの確立や郷土愛醸成に繋がるため、郷土の歴史・文化を知る機会の創出やリーフレットの作成等を今後も継続していく。	